

## 医薬品に関する情報提供

### ノバルティス ファーマ株式会社

このたび、厚生科学研究(新興・再興感染症研究事業)の研究班「インフルエンザ脳炎・脳症の臨床疫学的研究」にて実施されたアンケート調査結果が公表されました。

本研究については今後更なる研究が必要であり、結論的なことはいえない状況とされておりますが、研究報告の全文を裏面に掲載いたしましたのでご一読下さるようお願いいたします。

なお、ボルタレン錠及びボルタレンサポの「効能又は効果」、「用法及び用量」、「使用上の注意」のうち<解熱>及び<小児>に関連する事項(抜粋)を記載いたしましたので、ご使用に際しまして改めてご確認いただきますようお願い申し上げます。

鎮痛・解熱・抗炎症剤

劇薬、指定医薬品、要指示医薬品  
(注意—医師等の処方せん・指示により使用すること)

**ボルタレン<sup>®</sup>サポ<sup>®</sup> 12.5mg**  
**ボルタレン<sup>®</sup>サポ<sup>®</sup> 25mg**  
**ボルタレン<sup>®</sup>サポ<sup>®</sup> 50mg**  
ジクロフェナクナトリウム坐剤

鎮痛・抗炎症剤

劇薬、指定医薬品、要指示医薬品  
(注意—医師等の処方せん・指示により使用すること)

**ボルタレン<sup>®</sup>錠**  
ジクロフェナクナトリウム錠

#### 【警告】

幼小児・高齢者又は消耗性疾患の患者は、過度の体温下降・血圧低下によるショック症状があらわれやすいので、これらの患者には特に慎重に投与すること。

#### 【効能又は効果】

他の解熱剤では効果が期待できないか、あるいは、他の解熱剤の投与が不可能な場合の急性上気道炎(急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む)の緊急解熱

#### 【用法及び用量】

小児：ジクロフェナクナトリウムとして1回の投与に体重1kgあたり、0.5～1.0mgを1日1～2回、直腸内に挿入する。

なお、年齢、症状に応じ低用量投与が望ましい。低体温によるショックを起こすことがあるので、少量から投与を開始すること。

年齢別投与量の目安は1回量として下記のとおりである。

1歳以上 3歳未満：6.25mg  
3歳以上 6歳未満：6.25mg～12.5mg  
6歳以上 9歳未満：12.5mg  
9歳以上 12歳未満：12.5mg～25mg

#### 【使用上の注意】

小児等への投与

新生児及び乳児は、一般に体温調節機構が不完全なため、本剤の投与により過度の体温下降を起こす可能性があるため、新生児及び乳児には、過度の体温上昇等やむを得ない場合にのみ投与すること。

#### 【効能又は効果】

下記疾患の解熱・鎮痛  
急性上気道炎(急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む)

#### 【用法及び用量】

上記の場合  
通常、成人にはジクロフェナクナトリウムとして1回量25～50mg(1～2錠)を頓用する。  
なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、原則として1日2回までとし、1日最大100mgを限度とする。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。

#### 【使用上の注意】

小児等への投与

小児では、副作用の発現に特に注意し、必要最小限の使用にとどめるなど慎重に投与すること。〔小児等に対する安全性は確立していない。〕

「効能又は効果」、「用法及び用量」、「使用上の注意」のうち<解熱>及び<小児>に関連する事項(抜粋)  
なお、詳細については添付文書をご参照下さい。

